

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅲ		科目コード	13360001		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>					
到達目標	<p>自ら即就職活動ができるようになり、社会人として必要なマナー(期日厳守)・礼儀(挨拶状)を身に付け、早期出社ができるようにする。</p> <p>そして、漢字力・文書力を身に付け活用できる。</p>					
評価項目	期末試験(65%)、出欠席(5%)、提出物(30%)					
評価基準	期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。					
担当教員	田中 光		常勤			
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	<p>「改訂版 ビジネスマナー基本テキスト」 (キャリア総研)</p> <p>「就活支援ブック 社会探求編」 (株式会社 キャリタス)</p>					
関連科目	なし					
授業計画	<p>1. ビジネス文書の基本マナー 7コマ</p> <p>①ビジネス文書:社内文書・社外文書</p> <p>②ビジネス文書:挨拶状の書き方(暑中見舞い・年賀状・年末挨拶状など)</p> <p>2. 慶弔・贈答・会食のマナー 7コマ</p> <p>3. 卒業研究準備 10コマ</p>					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	Office実務			科目コード	13360101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	MicrosoftのOffice(Word、Excel)のパソコン実務操作スキルを身に着け、仕事の効率化・スピードアップをめざす。					
到達目標	【指導方法】 ・Word、Excelを使い、ビジネス文書や資料の効率のよい作成の仕方を指導する。 【学生に期待すること】 ・効率よく資料を作成するスキルを身に着ける。					
評価項目	確認テスト(60%)、提出物(35%)、出欠(5%)					
評価基準	Word、Excelを使ったビジネス文書や資料を効率よく作成することができるかを課題提出を実施し評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	15日で使いこなす！office2024実践講座					
関連科目	なし					
授業計画	ビジネス文書や資料を作成するためのポイントや、作業手順を指導し、実践する。					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	社会調査			科目コード	13360201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	50	2	無
授業の概要・目的	実社会を舞台に、顧客のニーズ、市場動向、競合状況などのデータを収集・分析し、課題解決につなげる科学的な調査手法を修得する。					
到達目標	様々なテーマにおける顧客のニーズ、市場動向、競合状況などのデータを収集・分析できる。					
評価項目	提出物/発表(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	データを収集・分析するプロセスと成果物、プレゼンで評価する。					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア2年、サービス開発6年、事業企画3年、経営企画4年					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・統計学の知識の復習 ・企業と連携したアンケート作成、実施 ・アンケート結果の分析、評価 					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ITパスポート概論		科目コード	13360701		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	85	4	無
授業の概要・目的	ITパスポート取得に向けた学習を行う。ITを正しく理解し、業務に効果的にITを活用することのできる“IT力”を身に着ける					
到達目標	社会で利用する情報機器及びシステムを把握し、活用することができる人材を目指す。企業内、普段の生活において、安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従って行動できるようになる。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト／期末試験 (80%) ・課題(15%) ・出席点(5%) 					
評価基準	ITパスポートの取得レベルの知識があるかを試験、課題提出で評価する。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&問題集					
関連科目	ITパスポート特講					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート ストラテジ分野 ・ITパスポート マネジメント分野 ・ITパスポート テクノロジ分野 					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ITパスポート特講		科目コード	13360301		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	60	3	無
授業の概要・目的	ITパスポート取得に向けた検定対策授業を行う。					
到達目標	演習、過去問題に取り組み、ITパスポートの得点を向上させる。 Webサイトと電子媒体を活用し、学生の取り組みの効果を高めるとともに、検定取得に向けたモチベーションを保ち、周囲と協力して取り組む姿勢を身に着けることも目指す。					
評価項目	確認テスト／模擬試験(50%)、課題提出(30%)、ITパスポート試験の得点(20%)					
評価基準	ITパスポート取得レベルの知識の習得がなされているか、対策期間中の課題が提出できているかで評価する。					
担当教員	田中 光		常勤			
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&問題集 各年度における過去問					
関連科目	ITパスポート概論					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート ストラテジ分野 ・ITパスポート マネジメント分野 ・ITパスポート テクノロジ分野 					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス法務			科目コード	13360401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	ビジネスに関連する最低限の法律の知識を理解していく。 「ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的法律知識をする人材をめざし、習得していく。					
到達目標	テキストを用いインプット講義、確認テスト、問題集を用いアウトプットの練習を行う。					
評価項目	確認テスト/期末テスト(80%)、提出物(15%)、出欠(5%)					
評価基準	ビジネスに関連する。最低限の法律の知識に関する。試験、課題提出を実施し評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	「ゼロからスタート！ 武山茂樹のビジネス実務法務検定試験1冊目の教科書」KADOKAWA ・授業中に適宜資料を配布する。					
関連科目	なし					
授業計画	①就職活動の際の留意点～労働法の基礎～ ②労働法 ③法人と会社					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	プレゼンテーション演習Ⅱ			科目コード	13360501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	35	1	無
授業の概要・目的	外部に向けたプレゼンテーションをグループで作成。 各自で役割を明確に意識する。					
到達目標	相手に伝わるプレゼンテーション作成のために、考えて作ることができる。 前に立って話すという経験を重ね、人前に立つ抵抗感をなくす。					
評価項目	提出物(50%)、発表/相互評価(45%)、出欠(5%)					
評価基準	外部発表に向けたプレゼンテーション作成およびプレゼンで評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	図解&事例で学ぶプレゼンの教科書					
関連科目	なし					
授業計画	グループワークによるプレゼンテーションの実施 テーマごとにグループ編成を変える					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネスプランニングⅡ			科目コード	13360601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	70	3	有
授業の概要・目的	ビジネスプランコンテストに向けたアイデアをまとめ、プレゼンテーションを作る。					
到達目標	自由な発想でアイデアを出すことから始め、それをビジネスに活かすことができる(利益を生む)段階まで作り上げることで、新しいビジネスプランを考える際のノウハウを学び、実践する。また、グループで一体となって取り組むことで協調性を育む。					
評価項目	提出物/発表/相互評価(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	ビジネスプランコンテストへの応募し、提出プランで評価する。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	ビジネスモデル2.0 図鑑					
関連科目	なし					
授業計画	ビジネスプランコンテストへの応募を通じて、アイデアの創出、相手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションを行う。					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	Access概論			科目コード	13360801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	Microsoft Office SpecialistのAccess2019検定の全員取得を目指す。 Accessの機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。					
到達目標	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められるAccessスキルの教示。 【学生に期待すること】 ・実社会でのAccessの役割について理解すること。 ・ExcelとAccessとの違い、および、データベースの利便性を理解すること。					
評価項目	確認テスト/検定結果(80%)、提出物(15%)、出欠(5%)					
評価基準	・Microsoft Office Specialist Access2019レベルの試験、課題提出を実施し評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	「よくわかるマスター MOS Access 365&2019 対策テキスト&問題集 改訂版」(FOM出版)					
関連科目	なし					
授業計画	・データベースの作成と管理 ・テーブルの作成 ・クエリの作成 ・フォームの作成 ・レポートの作成					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	PBL I			科目コード	13360901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	有
授業の概要・目的	修得した学びを用いて、実際に企業様の抱える課題に対するための提案資料を作成するためのリサーチ・商談・グループワークから更なる気づきと成長を促す。					
到達目標	様々なテーマにおけるデータの収集・分析を踏まえ、ビジネス提案を実践できる。					
評価項目	提出物(50%)、発表(45%)、出欠(5%)					
評価基準	データを収集・分析し、データに基づく提案するプロセスと成果物、プレゼンで評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	グループごとに提案資料の作成 対企業様に対するプレゼンテーション					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅳ			科目コード	13361001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指すため、該当する検定を受験する。 この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。 また、社会人としての心構えを身につける。					
到達目標	任意検定の受験 ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書検定 ③秘書検定 ④漢字検定					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	「改訂版 ビジネスマナー基本テキスト」 (キャリア総研) 「就活支援ブック 社会探求編」 (株式会社 キャリタス)					
関連科目	なし					
授業計画	1. テーブルマナー 2コマ 2. 検定対策 10コマ ①社会人常識マナー検定 ②ビジネス文書 ③秘書検定 ④漢字検定					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	PBL II			科目コード	13361201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	1	有
授業の概要・目的	修得した学びを用いて、実際に企業様の抱える課題に対するための提案資料を作成 そのためのリサーチ・商談・グループワークから更なる気づきと成長を促す。 前期の学びを活かした、より実践的な発想力・提案力を実践する。					
到達目標	様々なテーマにおけるデータの収集・分析を踏まえ、ビジネス提案を実践できる。					
評価項目	提出物(50%)、発表(45%)、出欠(5%)					
評価基準	データを収集・分析し、データに基づく提案するプロセスと成果物、プレゼンで評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	グループごとに提案資料の作成 対企業様に対するプレゼンテーション					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	行動経済学			科目コード	13361301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	人間が非合理的な意思決定を行うメカニズムを、直感、損得勘定、社会的心理の側面から学び、理論を実社会の課題解決に活用する力を養う。					
到達目標	認知バイアスやプロスペクト理論等の基本概念を習得し、ナッジや意思決定モデルを用いて、ビジネスや日常の課題を多角的に分析・改善できる。					
評価項目	期末試験/提出物(85%)、発表(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:各単元の理論問題などから出題 社会課題やビジネスシーンを想定し、行動経済学の理論を応用した解決策や企画を、論理的かつ説得力を持ってプレゼンする力を測る					
担当教員	松山 友紀			常勤		
実務経験者による授業	税理士補助業務14年、職業訓練委託校講師2年					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	認知バイアスやプロスペクト理論を学び、ナッジ等の手法を用いた実社会の課題分析と解決案の策定を実践する。					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	マーケティングⅢ			科目コード	13361401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	前期で学んだ知識を活かし、SNSマーケティングを主軸としたマーケティング手法について学ぶ。					
到達目標	テキストを用いた知識のインプット。それを活かしたインスタアカウントの運用を実践					
評価項目	確認テスト/検定結果(80%)、提出物(15%)、出欠(5%)					
評価基準	マーケティングの仕組みを理解したうえで実際のSNSマーケティングに活かせるかを試験で評価する。					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	「SNSマーケティング検定 問題集」(株式会社サーティファイ)					
関連科目	なし					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングの基礎知識 ・SNSの媒体特性 ・投稿作成 ・広告、キャンペーン ・ユーザコミュニケーション ・プロジェクトマネジメント 					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	プレゼンテーション演習Ⅲ			科目コード	13361501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	35	1	無
授業の概要・目的	セミナー形式の発表を行える。発表対象人数が100名近くを想定したプレゼンテーションを行えるようにする。					
到達目標	大人数を想定した環境の中でプレゼンテーションを行う。 高度なテクニックを駆使して、プレゼンテーションを行う。 卒業研究で取り組んでいる内容を発表できる形を作る。					
評価項目	提出物/発表(80%)、相互評価(15%)、出欠席(5%)					
評価基準	一定レベル以上のプレゼンテーション技術を取得しているかを課題提出、プレゼンで評価する。					
担当教員	玉江 孝弘			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニア2年、サービス開発6年、事業企画3年、経営企画4年					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	グループワークによるプレゼンテーションの実施 テーマごとにグループ編成を変える					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	卒業研究 I			科目コード	13370101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	60	3	有
授業の概要・目的	学科の集大成として、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行う。					
到達目標	【指導方法】 テーマを与え、学生に考えさせる。レベルを維持するために、教員がチェックを行う。 【学生に期待すること】 ・問題意識をもって取り組む。					
評価項目	・提出物(90%) ・出欠点(5%) ・取り組み姿勢(5%)					
評価基準	研究レポートの提出					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	企業の取り組み事例や成果などを参考に、これまで培った知識をもとにレポートを作成する。					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	卒業研究Ⅱ			科目コード	13370201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	60	3	有
授業の概要・目的	課題に対するレポート作成 卒業研究発表会に向けて。グループ毎で研究を行い、成果を発表する					
到達目標	各自、問題意識をもって取り組み、それをグループで共有し、協働しながらつくりあげることができる。学びの集大成として、最後までやり切るという意識を養う。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物(40%) ・発表内容(35%) ・相互評価(20%) ・出席点(5%) 					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・研究レポートの提出 ・プレゼンテーションの実施 					
担当教員	田中 光			常勤		
実務経験者による授業	コンサルティングセール6年					
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	なし					
授業計画	卒業研究発表会に向けて、ビジネスプランの構築、プレゼンテーションの作成を行う。					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	データ分析演習Ⅱ			科目コード	13380101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	デジタルビジネス育成に伴う、データの活用方法、POSデータの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。					
到達目標	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。 【学生に期待すること】 ・データ分析の考え方について理解すること。 ・実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。					
評価項目	・期末試験(80%) ・確認テスト(10%) ・出欠席(5%) ・提出物(5%)					
評価基準	・データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになるかを試験、課題提出で評価する。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析一般 株式会社 オデッセイコミュニケーションズ Excelで学ぶ 実践ビジネスデータ分析					
関連科目	データ分析Ⅰ・Ⅱ 統計概論 データ分析演習Ⅰ					
授業計画	①1変量のデータのまとめ方 ②2変量のデータのまとめ方 ③仮説検定 ④回帰分析					
事前事後学習						

デジタルビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	統計概論			科目コード	13380201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	日本統計学会が実施する、統計検定3級レベルの統計学の知識と理解を目指す。統計を学習していくことにより、データ分析の手法を身につけ、身近な問題に活かす力を身に付けさせる。					
到達目標	身近な問題に対してデータを通して正しく内容を理解すること、また情報を集めたのちにその目的、分析結果の報告が認識できるようにする。					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト／期末試験 (80%) ・課題(15%) ・出席点(5%) 					
評価基準	統計検定3級レベルの問題を解くことができるかを試験、課題提出で評価する。					
担当教員	小林 聖治			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門 統計検定3級 過去問題集 統計学の図鑑					
関連科目	データ分析Ⅰ・Ⅱ 統計概論 データ分析演習Ⅰ・Ⅱ					
授業計画	①データの客観的な判断 ②統計に関する知識に基づいた活用 ③統計を用いた問題解決手法					
事前事後学習						